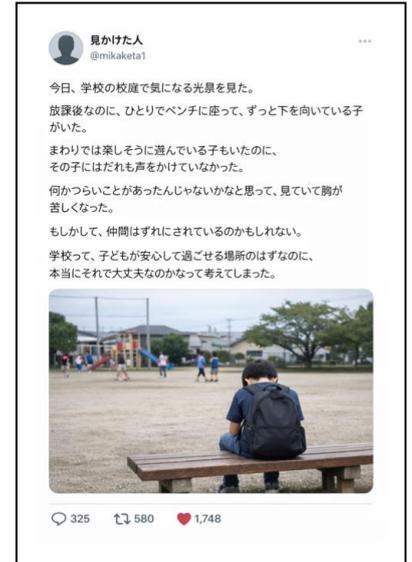


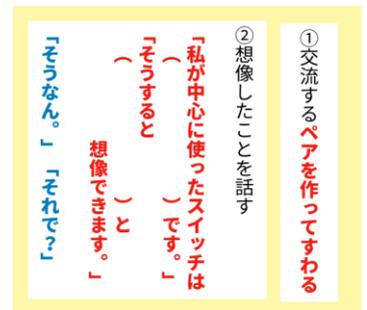
# 5年 「想像力のスイッチを入れよう」～「活用」編～

本単元の後半では、学習した「想像力のスイッチ」の考えを実際に使いながら、考えを深める学習に取り組みました。

まず、実際の場面に近い SNS にありそうな投稿文を教材として提示



し、どの想像力のスイッチを使って、どのように想像を広げたり深めたりしたのかについてペアで交流しました。文章に書かれている内容だけでなく、その背景や起こり得る状況など、書かれていない部分まで想像を広げようとする姿が多く見られ、特に、複数の想像力のスイッチを組み合わせで考える子どもが多かったことが印象的でした。読みを深める段階でスイッチどうしの関連について考えてきたことが生かされ、想像力のスイッチを使って実際に自分で想像することで、文章に書かれている内容の理解がより一層深まったと感じています。また、SNS等のメディアに書かれていることをそのまま信用することは危険であるという、メディアに対する考えをもつ子どもも現れ、次の学習へとつながる活動となりました。



続いて、池上彰さんのメディアに対する考えが書かれている「もっと読もう」を読み、メディアに対する考えをさらに広げたり深めたりしまし

た。インタビューを読んで納得したことや初めて知ったことに線を引き、その内容を基にメディアに対する自分の考えをまとめることで、下村さんの「想像力のスイッチ」と池上彰さんの考えの両方を結び付け

ながら思考を深める子どもが多く見られました。想像することが、情報を受け取る場面や実生活の中でど



のように役立つのかについて、具体的に考えることができたと感じています。最後に、Padlet を活用して一人一人のメディアに対する考えを交流し、できるだけ多くの考えに触れることで、自分の考えを見直したり、新たな視点に気付いたりする姿が見られました。

本単元を通して、文章を読むことで考えを広げ、その考えが実生活に役立つことにつながるという学びを、具体的な活動を通して実感することができました。また、想像力のスイッチを使って情報の背景や意図を考える経験を重ねることで、メディアに書かれている内容をそのまま受け取るのではなく、批判的に捉えようとする姿勢が育ち、メディアリテラシーの基礎につながる学習ともなりました。